

# FP まつもと通信

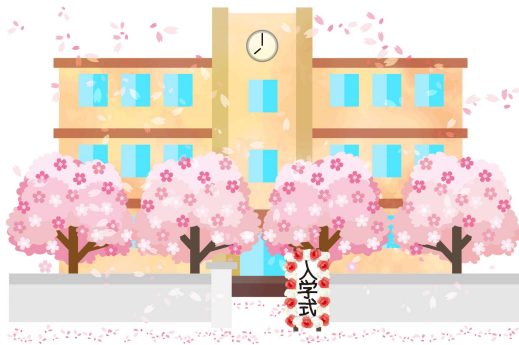
ちょっと得する「資産形成」や「お金」の話題をお届けします。

## ご挨拶

新年度になりました

春は進学、進級の季節ですね。卒業、進学をしたご家庭もあると思います。おめでとうございます。3年ぶりにマスクがない式典で一層晴れやかな気持ちになったのではないのでしょうか？

卒業、進学をした場合、保険や保障額を見直した方がよいケースもあります。年に一度、この時期には加入している保険や年金の確認をしましょうか？



## 今月号のちょっと気になるお金のコラム

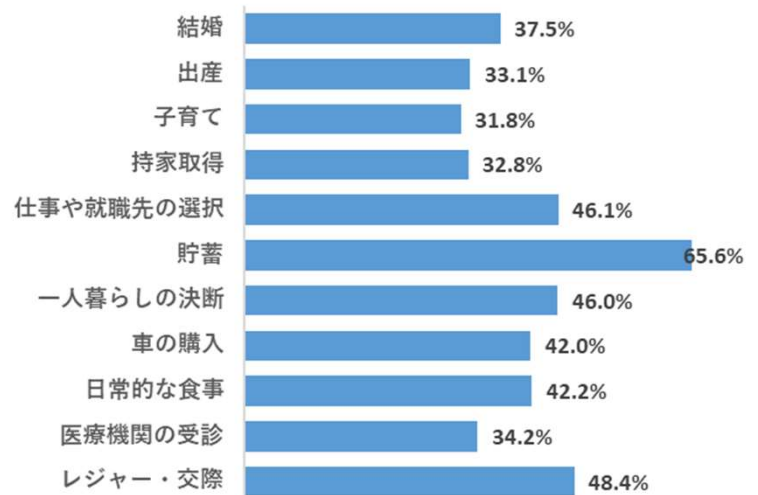
受取る人がいない相続財産、10年以上取引が無い預金、はどうなってしまうのでしょうか？

その金額も驚きです。

## 奨学金アンケート

3月に労働者福祉中央協議会は奨学金や教育費負担に関するアンケート報告書を発表しました。

下図は奨学金の返済が生活設計に与える影響についての回答です。「結婚」「出産」「子育て」などに影響していると答えた人が3割以上です。さらに日常的な食事や医療機関の受診の数字から日常的に負担を感じている人が多いことがわかります。



これだけ負担を感じていても高等教育を受けたことに対して「満足」と感じている人が約75%います。

奨学金の返済方法については出世払い方式なども議論されていますが、小さいお子様がいる方は時間をかけて準備を始めてはいかがでしょうか？



F P 松本相談センター  
ファイナンシャルアドバイザー  
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250

090-8741-7358

<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。

国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・積立・分散投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

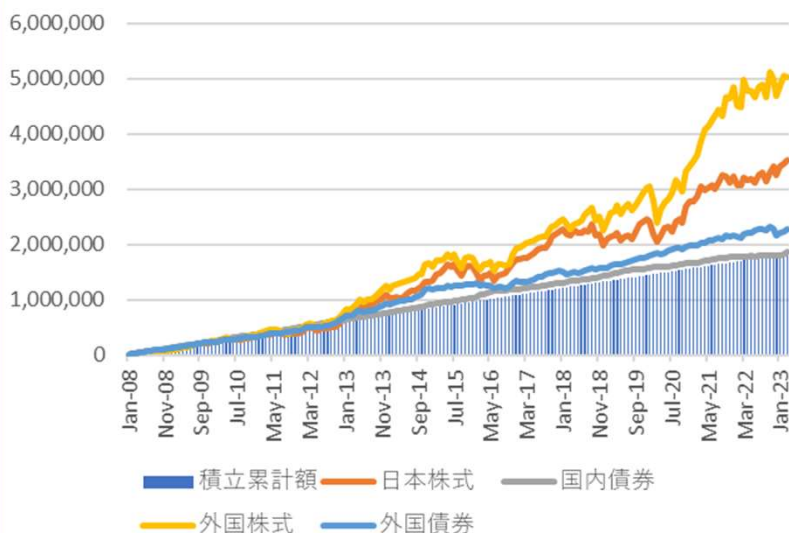
下図表は2008年1月から積立投資をした場合のシミュレーションです（MS社インデックスファンド基準価額データを利用）。図①は国内外の株式・債券の種類ごとの積立投資の推移を表しています。図②は外国株式ファンドと外国債券ファンドに積立投資をした場合の積立開始時期による成果の違いを表しています。この2つのグラフを見ると、確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切であることがわかります。

**投資期間に応じた資産配分：**積立期間が長い場合には株式の割合を多く、まとまった資金の受取予定が近い場合には株式の割合を少なくする

**大幅に値下がりした場合：**積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する

**長期継続する：**値動きや値動きを解説するニュースに惑わされず長期継続する

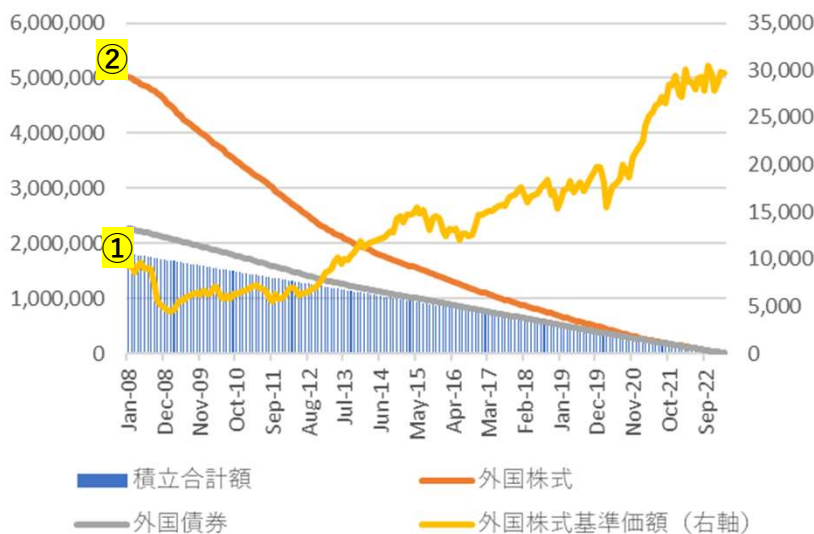
## ① アセットクラスごとの積立投資の推移



	Jan-23	Feb-23	Mar-23
積立累計額	1,810,000	1,820,000	1,830,000
日本株式	3,409,670	3,450,993	3,518,522
国内債券	1,795,690	1,824,865	1,859,493
外国株式	4,865,946	5,044,273	5,026,867
外国債券	2,200,087	2,235,807	2,272,992

2008年1月からの積立投資の推移です。株式は値動きは大きい一方値上がりも期待できません。債券は値動きは小さく値上がりも小さいことがわかります。従って長期の積立では株式をメインに、まとめて取崩す予定がある場合は株式の割合を少なくします。

## ② 積立開始時期ごとの積立合計と評価額



2008年1月に始めた積立投資の合計額①183万円（青棒）は2023年2月に②502万円（オレンジ線）と2.74倍になりました。グラフの左の方は積立合計（青棒）に対して現在の評価額（オレンジ線）が大きく上の方に離れているのに対しグラフの右の方はその差が小さくなっています。つまり投資の成果は概ね積立期間に連動していると考えられます。

10年ちょうど（120万円）積立をした場合の最大値、最小値、平均値は下表のようになりました。

最大	2,640,931	2012年1月 ～ 2021年12月
最小	1,747,373	2010年4月 ～ 2020年3月
平均	2,269,607	データ数：64

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

## 金融危機再燃か？！

	日経平均		NYダウ		ドル円
Jan-23	27,327.11	4.72%	34,086.04	2.83%	130.05
Feb-23	27,445.56	0.43%	32,656.70	-4.19%	136.22
Mar-23	28,041.48	2.17%	33,274.15	1.89%	133.09

3月の日米の株式市場は上昇しました。3月10日に米シリコンバレー銀行が破綻、さらにヨーロッパではスイス大手銀行のクレディ・スイスが経営危機と報じられ一時株価は大きく値下がりしましたが、金融当局の迅速な対応、UBSによるクレディスイスの救済合併などにより金融不安が和らいだことで株価は持ち直しました。

このようなことが起こるとしばらくの間は次の破綻先が取りざたされたりすることもあります。それにより株式市場は下落することもあると思いますが、長期の積立投資では短期の値動きに惑わされずに継続することが大切です。

## リーマンショックが無かったらどうなっていたか？

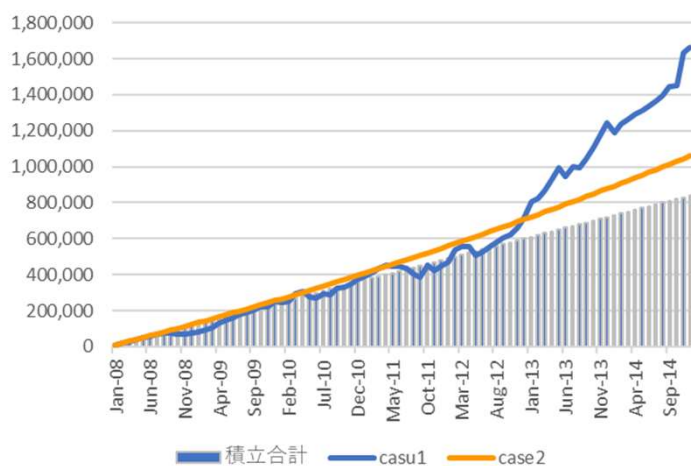
下図の青線は2008年1月から2023年2月までの外国株インデックスファンド（当シミュレーション利用ファンド）の推移です。2008年にはリーマンショックがあり大きく値下がりしています。オレンジ線は仮にリーマンショックが無く、毎月順調に値上がりしたとしたら、という仮定のラインです。



リーマンショックの影響を受けた青のラインは、100年に一度の危機と言われ、中には2度と回復しない、という人もいました。いつ回復するのか、本当に回復するのか、不安だったのではないのでしょうか？

一方オレンジのラインでは不安に感じることもなく安心して積立を継続できたと思います。

下図は青とオレンジの値動きの商品に2008年1月から2014年12月まで毎月1万円づつ積立をした場合の評価額の推移を表しています。



青の積立はリーマンショック後しばらくは元本割れが続きましたが、オレンジの積立は元本を下回ることなく堅調に推移しました。ところが2014年12月時点（左図①）での評価額は、積立合計84万円に対して、青の積立は166万円、オレンジの積立は106万円でした。

$$\text{投資の成果} = \text{価格} \times \text{口数}$$

このような一見すると不思議な結果になったのは、同じ1万円でも青の価格が安いときにオレンジよりも多くの口数を買うことができたからです。

長期の積立投資では下落時は口数を増やすチャンスです。値動きを解説するニュースなどに惑わされずに積立を継続すること、さらには増額を検討することが大切です。

## ちょっと気になるお金のコラム

今月はちょっともったいない、と思うお金の話題です。

### 相続人がいない遺産、647億円

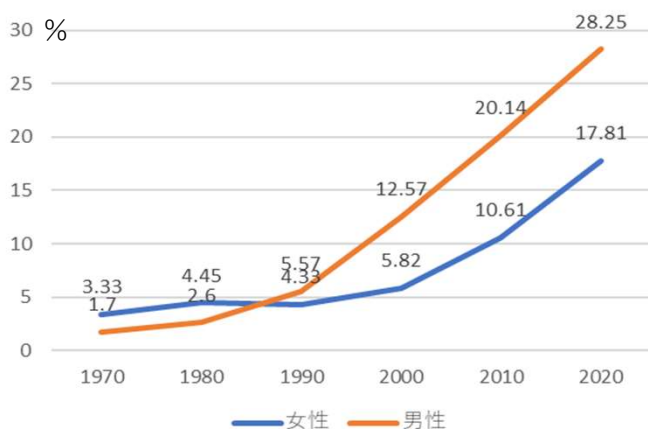
相続人がいないなどの理由で国庫に入る財産額が2021年度は約647億円と過去最高になったそうです（2023年1月23日 朝日新聞）。

相続人が不在でも、遺言書がある場合、その遺言書で指定された人や団体が財産を相続することになります。

遺言書がない場合は、被相続人の「特別縁故者」が財産分与の申立てをすることができます。（「特別縁故者」とは内縁の妻・夫や、介護に携わっていた人などのこと）

遺言書も無く、特別縁故者の申し出も無かった場合、最後は国庫に入ることになります。

下図は50歳時未婚率の推移です（男女共同参画白書 令和4年より）。今後ますます相続人不在の相続財産が増えていくことが予想されます。相続人がいない人はもちろん、いる人も争族にならないよう上手に遺言書を利用すると良いかもしれませんね。



### 休眠預金、1200億円

休眠預金とは10年間取引が無かった預金のことです。政府広報オンラインによると10年間全く取引が無い預金は毎年約1200億円もあるそうです。

これらのお金は2019年から民間での公益的な活動に使われることになりました。10年経過し、一度休眠預金扱いになった後でも預入をしている金融機関で手続きをすれば引き出すことができます。

ただし郵便局の場合は、平成19年9月30日以前に預けた定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金は満期後に20年2か月経過した場合一切払戻ができません（民営化により法律が変わったため）。

高齢の方の通帳などは一度確認したほうが良いかもしれませんね。

### 放置年金、2600億円

会社で確定拠出年金（DC）に加入している人は手続き忘れに注意しましょう。転職や退職の際に移管の手続きを忘れ放置している人が112万人、金額で約2600億円（2022年9月）もあるそうです。

転職や退職で企業型DCの加入資格を失い、6か月以内に手続きをおこなわないと、自動的に国民年金基金連合会に移されます（自動移換）。移された資産は現金として管理されるため、運用されないうえに手数料がかかります。

確定拠出年金の加入者で転職や退職をした人は一度確認しておいてはいかがでしょうか？